

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                       |     |                  |
|----------------|-----------------------|-----|------------------|
| ○事業所名          | 特定非営利活動法人KOGUMA こぐまの森 |     |                  |
| ○保護者評価実施期間     | 2024年10月1日            |     | ～<br>2024年10月31日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                | 16人 | (回答者数) 9人        |
| ○従業者評価実施期間     | 2024年10月1日            |     | ～<br>2024年10月31日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                | 16人 | (回答者数) 5人        |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年2月21日            |     |                  |

## ○分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること  | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等  |
|---|---|--|---|
| 1 | ・子ども達への愛情<br>日頃の関わりの中から、会議中、そして毎月の振り返りレポートから職員達の子ども達へ対する愛情を強く感じます。子ども達の成長を保護者の方々と同じ目線で感じ、そして喜びを日々共有しています。そのような職員達に恵まれていています。        | ・職員がいつも明るく笑顔でいること<br>支援に無関係と思われるかもしれませんが、職員間の風通しの良さ、いつでも相談し合える環境、関わる大人達が笑顔でいることは子ども達の安心感、そして支援においてとても重要なことだと捉えています。<br>子ども達に対しても同じ方向性で支援を行っています。<br>職員間のコミュニケーションについての研修もありますが、ひとりひとりの人間性や豊かな感性、子ども達を思う気持ちにより今の環境があるのだと感じています。 | 今後も職員間で子ども達の様子について子ども達それぞれの支援のあり方について子どもはもちろん保護者の方々の気持ちにも寄り添いながら支援に取り組んでまいります。<br>そして職員がいつも明るく笑顔でいられる環境作りをより意識するよう努めます。 |
| 2 | ・専門性の高い職員の在籍<br>音楽療法士2名、作業療法士など専門的な職員が多く在籍しています。幅広い視野で子ども達ひとりひとりの支援を行っています。その他職員も有資格者、障がい分野での歴が長い経験者となっています。                        | 専門的な目線からのアドバイスや意見、取り組みを共有しています。<br>個別の時間もありますが、集団での活動の際にはその職員も共に参加しながらサポートしています。その他職員については定期的な外部研修や法人の研修(SST研修など)に積極的に参加し、現場での支援に活かしています。  | 外部研修や法人内の研修の機会を増やし、職員ひとりひとりのスキルアップを目指します。<br>研修だけでなく、日頃の支援の成功例など今後も随時共有するよう努めます。  |
| 3 | ・見て、触れて、体験する<br>日々の支援だけでなく様々な行事、イベントを行っております。季節のイベント(クリスマス会、節分、ハロウィンでの地域の方々との関わり、お芋掘りなど)、運動会、遠足(動物園、水族館など)、クッキング、外国人講師による英会話、ピアノカなど | 行事やイベントの中から実際に体験する機会、社会性の構築、そして体験を通して自信や可能性に繋がることが期待されます。<br>障がいの特性によっては保護者の方が余暇の過ごし方に悩まれることもあり、外出先も制限せざるを得ないこともあります。こぐまの森で様々な場所に行き、幅広い経験を培うことを意識して取り組んでいます。   | 現在、保護者の方に観覧いただくのは運動会のみとなっておりますが<br>その他にもご参加いただけるようなイベントや普段の様子を観覧いただけるような機会を検討しています。                                     |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要と思われること  | 事業所として考えている課題の要因等   | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|--|---|---|
| 1 | ・保護者会の開催不足<br>以前開催した際、参加いただいた方々より再開催のお声をたくさんいただいておりますが、今年度こぐまの森での保護者会は開催できなかったため、アンケートにて開催のお声をたくさんいただいております。今年度は外部での支援学校の先生によるお話会と保護者会がありました。明石事業所からは参加者なしの結果となりました。 | 平日昼間の開催だったので仕事の調整が難しかった、外部よりもこぐまの森内での保護者会のほうが安心して参加ができるといったお声をいただきました。            | ・定期的な保護者会を開催します。<br>・平日の昼間の時間帯は予定のある方が多くいらっしゃるのので、以前のように日祝などに開催を予定いたします。<br>・保護者の方皆様にご参加いただきやすいよう、保護者会中の託児を検討いたします。                           |
| 2 | ・幼稚園や保育園への見学不足<br>併用されている方も数名いらっしゃるの、別の環境での子ども達の見学を希望していますが、機会がなくあまり訪問することが出来ませんでした。別の環境での様子を確認することは支援を行う上で重要なのはもちろん、新たな発見や学びに繋がることがあります。                            | なかなか日程が合わず、先送りになってしまう事がありました。   | 近日中に再度試みます。<br>訪問時には、担当の方と子どもの情報共有もしっかりと行います。   |
| 3 | ・園庭など室外で外気浴可能なスペースがない<br>子どもにとって外で目一杯身体を動かすことは一日の中でもより大切なことなので、室外での活動は必須です。天気が良い日は事業所近くの公園に戸外活動に行きますが、事業所内に戸外活動スペースが併設していれば気軽にそして安全に活動を見守ることが出来ます。                   | それぞれの障がいの特性によって数分の徒歩であれど難しいケースがあります。夏場は熱中症の危険性もあるため、熱中症指数が厳重警戒レベルになると戸外活動を控えています。 | 系列事業所内に安全な室外スペースを設けているため夏場でもたくさん身体を動かしたり、水に触れる遊びをするなど、車で訪問して合同で活動を行っています。<br>その他、日陰のある公園に出かけるなど、今後も送迎車を利用して子ども達の活動が制限されることのないよう安全に幅を広げてまいります。 |